

清流のほどり

令和6年6月3日(月)発行 園長 津田 将美

閲覧数が増え、寄幼稚園のHPがWEB検索にヒットするようになりました。ご協力に感謝申し上げます。



寄 松田

こいのぼり

子どもの日が近くなると、松田幼稚園では2名の運転手さんが、こいのぼりを園庭にダイナミックに掲げてくださいます。それを見る子どもたちの表情も実に生き生きとして、本園の風物詩となっています。

ゴールデンウィークの合間の稼業日にも、子どもたちは元気に登園し、生き生きと活動していました。明るい声に誘われて園庭に出ると、さっそく声をかけられました。

「園長先生、なわとび回して！」
どんな時でも、声をかけられるのはうれしいものです。子どもたちのリズムに合わせて、調子よく大なわを回していきました。

失敗しても、失敗しても何度も並び直して挑戦を続ける子どもたちに、私の回す腕にも一段と力が入ります。そして、一番続けてがんばってきた子が、もう少しで最高記録になる…という時のことでした。

「36, 37, 38, あっ!!」
気持ちよさそうに風になびいていたこいのぼりの尾がなわにかかり、記録がストップしてしまいました。私はつい、こいのぼりさんを叱ってしまいました。

「こいのぼり、だめでしょ！せっかく一生懸命がんばってるのに。」

そんな私に、その子はこんなことを言いました。
「こいのぼりさんは悪くないよ。ただ泳いでただけでしょ。」

その言葉に、私は大いに反省をしました。記録が途切れてもこいのぼりさんのせいにせず、前向きな心を忘れない子どもたち。空からやさしく見守ってくれているこいのぼりに愛情をたっぷりそそいでいる子どもたち。そしてそのような環境設定を日々工夫しながら創造してくれている松田幼稚園の職員に、反省と共に感謝の気持ちを改めて強く感じた出来事でした。

学校(幼稚園)評議員会

5月13日に、今年度第一回目の評議員会が開催されました。園での保育の様子を参観された後、幼稚園の運営について話し合いを持ちました。いただいた主なご意見は、以下の通りです。

- ・子どもたちが人懐っこい。園でも家庭でも大切にされていることが伝わってくる。
- ・あいさつの大切さを今後も教えてほしい。
- ・トラブルに対する教師の言葉がけが適切で、子どもたちの気持ちに寄り添ったものだった。
- ・各クラスの中で、子どもたちが関りを求めたり、没頭したりできる環境設定がある。
- ・園バスを待っていてくれる車に対して、職員も保護者も感謝の気持ちをさらに表現できるといいのでは。
- ・幼小の連携を家庭にも理解してもらいながら、進めてほしい。

いただいたご意見を今後の園運営に生かしていきます。

